

断熱 耐震

住宅夢工房

室蘭市中島町2丁目13・17  
☎(0143)41・0766

評価される断熱改修技術

技術指導と普及活動に期待

リフォームの専門店としてスタートした同社は、97年に法人化をしている。

北海道で最も早く価格メニュー型チラシの配布を行い、改修後をウオ

ーク・イン・スルー3D画像で説明するなど契約から工事、アフターに至るまで顧客目線での対応に徹している。分かりやすい見積もりと施工説明が同社のポリシー。



▲リフォーム前(下)とリフォーム後(上)の外觀

06年より既存住宅の高性能リフォームを取り組み始め、第1事業部門の全面改修工事を「新築こえるくん」とネーミング。同改修工事は、国の超長期住宅先導モデル事業に採択された「北方型住宅E C O」レベルの温熱環境を性能保障契約に明記し、施工を行

うもの。既存材をできるだけ活かし、200mm断熱、基礎断熱+床下放熱機+地下埋設管によるパッシブ換気システムなどで省エネ性能を大幅にアップさせた。さらに北海道板金組合の10年保証仕様以上の防水対策で耐久性の向上に努めている。

08年12月同社は、白老町で築27年の木造住宅の全面改修工事後を公開。一般的な新築住宅を上回る快適性、省エネ性に、訪れた多くのユーザーが高い関心を示した。NPOパッシブシステム研究会の会員として普及を進めていた同社の提案で、屋外と室内の温度差などで空気がくまなく循環するP換気を採用。同時に電気温水式セントラルに更新し、暖房灯油消費は年間で1㎡当たり8ℓとなった。リフォームのコスト面では新築の3分の2程度で済み500〜600万円軽減できる。

同社の阿部社長は「200mm断熱は、07年の夏に初めてリフォームで採用し今回で10棟目となるが、温熱循環が劇的に改善されるため、お客さまから高い評価を得ている。P換気はリフォームで始めて採用したが、今後も標準仕様していきたい」と話す。

第2事業部門の「エコリフォーム」



▲リフォーム後の内観

は、国の「既存住宅、建築物省エネ改修緊急促進事業」として認定され国費補助の対象となる。同社の断熱改修工事は高い評価を受け地域の工務店でも注目されているが、阿部社長は高気密及び高性能リフォームの技術指導と普及活動を目的とした協議会の設立を準備している。この協議会は、地球温暖化防止に関する啓蒙活動も検討していて、地域の省エネ運動の拠点となる予定だ。

今後、同社は、リフォーム業から学んだ知識を住民にも広げ、幅広い活動を展開してゆく。